

平成24年度日宇保育所事業報告書

1 保育所の運営

(1) 定員 150名

(2) 年齢別・月別入所児童数（各初日現在）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳児	9	10	11	12	15	19	22	24	28	28	31	32	241
1～2歳児	57	61	57	60	62	63	64	66	67	68	70	71	766
3歳児	39	38	37	37	39	40	41	40	40	40	40	39	470
4歳児以上	41	43	42	42	44	44	46	46	46	45	45	44	528
計	146	152	147	151	160	166	173	176	181	181	186	186	2005

(3) 職員数 平成24年度初 24名 平成24年度末 28名

(4) 職員の異動等

① 採用

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
H24.4.1	常非保育士		23	保育士資格	
H24.4.1	常非保育士		20	保育士資格	
H24.4.1	常非保育士		20	保育士資格	
H24.4.1	常非保育士		20	保育士資格	
H24.10.1	常非保育士		59	保育士資格	
H24.10.1	常非保育士		24	保育士資格	
H24.11.1	常非保育士		53	保育士資格	
H24.12.1	常非調理員		29		
H25.2.1	常非保育士		52	保育士資格	

② 異動

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
H24.7.1	保育士		24	保育士資格	配置換減→ルビニ保育園

③ 退職

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
H24.11.30	常非調理員		29		
H25.3.31	常非保育士		53	保育士資格	
H25.3.31	常非看護師		63	看護師資格	

(5) 職員会議の開催状況

毎月2回以上開催。子どもの安全を確保できる体制を整え職員が参加した。保育内容、行事等の打ち合わせを行い全職員が理解して取り組めるよう努めた。特に定例（20日前後を基本）会議では来月の重点活動、月の特性を考えた目標を定め、月案、週案をたてた。また、新人、中堅保育士それぞれの問題点や保護者からの要望について意見交換を行うことで円滑に保育が流れるよう目指し進めた。気になる

子に対する行動や対応についても実例を挙げながら話し合う場をもつことができ朝夕の合同での迎え対応も強化する事が出来た。流行の兆しがあるウィルス性の疾病などについても看護師を交え対策や予防について話し合いを持った。給食内容検討会等に月1回以上開き各クラスの嗜好や喫食状況 献立の検討や旬の野菜等について話し合い、乳幼児の健全な発育・発達に必要な栄養量を確保する様努めた。アレルギー除去食者の再確認状況を常に把握しミスがおきないように細かい配慮に努めた。職員会議の内容は、会議録として記し、全職員に回覧して確認印をしてもらった。全ての子どもに質の高い保育を目標に子どもが安心して楽しめる環境作りを目指し向上できた。

2 保育の実施状況

保育理念「命を大切に」

(1)保育課程

保育方針 乳幼児に最もふさわしい生活の場を提供し子どもの最善の利益を守り豊かな心と身体を育む。

保育目標

1. 人として、生かされている身の幸せを喜ぶ。
2. 思いやりのある人間関係の中で、情緒の安定を図る。
3. 自由な環境の中で、自分で考え行動できる意欲を養う。

(2)保育時間 午前6時45分～午後9時00分

(延長保育時間午後6時16分～午後9時00分)

保育内容

- ◎ 150名の定員数となり、在所児に対する配慮を密にし毎日の朝からの視診、降園時の連絡、迎えチェックなど行うことで一人ひとりの安全確保に努めた。また昨年度の評価を踏まえ保育課程を見直し、保育の質の向上に向け一人ひとりの育ちに応じて年間月案を立て実践するよう努めることができた。
- ◎ 生活の中でも子どもの情緒が安定した生活が出来るよう環境に配慮し、ひとりひとりが自己を発揮して活動できるようにした。
- ◎ 年齢別に保育する中で各クラス個別に活動するなど活動に工夫をこらし一日を過ごすことで子どもが安心感で情緒も安定する事ができた。
- ◎ 諸行事を通して様々な事柄を体得できた。特に老人や地域の子供たちとの交流の中で心身健やかな成長を助長することができた。
- ◎ 行事バスを利用し市内の図書館・史跡などをおとずれ豊かな心をより深く育てるようにした。運動公園等にも行き自然に触れることにより季節の移り変わりの感じる事ができた。また 姉妹園との交流により同年齢の友達との輪を広げることができ、社会性ルールを身につけられるよう言葉掛けの中で社交性を身に付けた。
- ◎ 心の保育の中で、お友だちに対する思いやりを育て、心豊かな子どもへと成長できた。
- ◎ 乳幼児突然症候群の予防として乳児の午睡中に10分間隔でタイマーをセットし 呼吸を確認した また 0歳児は睡眠時にその都度行き様子を観察し記録した。さらに SIDS 対策として、うつぶせ寝はやめさせ 布団はなるべく硬めの物を使用するようしたり 保護者の喫煙等でも影響がある旨を伝え事情を理解してもらい協力して頂いた。
- ◎ 園庭に芝生を植え緑のじゅうたんの上で裸足で遊びを楽しめた。また夏の強い直射日光を和らげることで体感温度も下がり過ごしやすくなった。
- ◎ 戸外遊びを中心に毎朝の体操・薄着の習慣づけ・冬はマラソンなどを行う中で心身の発達や体力増

進をはかった。

- ◎ 秋の日宇地区公民館祭りに参加し、地域とのふれあいをもつことができた。
- ◎ 園外へ散歩に積極的に出かけ 園を取り巻く環境 小学校 消防署 郵便局 駅等の社会環境を見たり、触れ合い交流をもつことで働く人々や仕事に興味や関心をもつことができた。
- ◎ 保育所内の中央に位置する一歳児の保育室は日ざしが差し込み園庭と隣り合わせとなる為、開放感があり活発に遊ぶことができた。
- ◎ 花や野菜の苗を植え、水やり・草取りの世話をしながら成長の様子を観察することにより、愛着心が備わった。さらに自分達で栽培し、実のらせたことで、できることの素晴らしさを実感できた。
- ◎ 天候が悪い日が続くと室内をオープンスペースにして 運動・集合遊びを行い子ども達の行動を静止することなく精神的にも安定できた。
- ◎ 園外のプール指導を取り入れたことで、水への恐怖心がなくなり心から楽しむことができた。
- ◎ 漢字保育、数え玉を実施に力を入れ、子どもの脳に刺激を与え内言語を増やし、集中力・忍耐力・情操性を養った。また「ほめる」事で満足感を味わい自信へとつなげていった。音読コンクールに参加するために、何度も読み、声を合わせるなど五感をつかいみんなで合わせることの難しさを感じながら作り上げるなどの連帯感・達成感を感じとることができた。
- ◎ 毎月5ヵ園の漢字保育指導が行われた後に担当者が集まり園の様子や反省、来月の内容について話し合いをもち資質の向上を図ることができた。
- ◎ マーチングを通して音楽を楽しみ、人前で演奏することで自信につながった。また 練習を重ねることで忍耐力・精神力が備わり逞しく成長できた。
- ◎ 交通指導・園外散歩での体験学習を通し、正しい交通ルールを知らせていった。
- ◎ 体育教室、マット遊び、体操等ですすんで体を動かし心身の発達や体力増進を図った。
- ◎ 幼保連携では日宇小学校へ季節事の散歩や日宇小祭り、給食交流、学校探検など交流をもつことができ生活態度などの基礎を培った。
- ◎ 一年を通して各クラスでPDCA サイクルを行い自己評価、反省、目標を上げ保育の充実向上を図った。

(3)外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数 (年・月指導回数)
幼児体育指導		毎週水曜日午前10時より 月3回
漢字保育指導		年8回

(4)実施した特別保育事業等

- ◎ 延長保育推進事業
- ◎ 延長保育事業
- ◎ 低学年受け入れ事業
- ◎ 一時保育事業 (自主事業)

(5)実施した主な行事 別紙1

3 職務分担表 別紙2

4 食育

食育年間計画表に基づいて、子どもたちと一緒に、野菜(トマト・茄子・胡瓜・レタス)を苗から育て、水やり、成長の様子を観察・記録し、収穫を通して自然の恵みと食への関心を高め、食することの大切さや感

謝の気持ちを養った。

5 給食の実施状況

- ◎アレルギー体質の子どもには、アレルギー除去食依頼書とアレルゲン検索（査）報告書を提出していただき、家庭と連絡を取り合いながら除去食で対応した。
- ◎食事では楽しく清潔なマナーを身に付けさせた。また 誕生会では祝いメニューとなり子ども達が
- ◎食材そのものの味を生かし、薄味を心がけ、なるべく自然の旨味に仕上げた。
- ◎手作りおやつは甘味料を控え食材を生かし、家庭ではなかなか口にできない献立を立てるようにした。
- ◎年齢による、咀嚼力の差を考慮しながら食材にも工夫し噛みごたえのあるものを提供した。
- ◎食前食後の挨拶により、ありがたく感謝していただくという気持ちをもたせみんなで食べる楽しさや行儀面の意識を高める事ができた。
- ◎定期的に針尾福祉会 5 ヶ園集まり献立や各園の状況について話し合った。
- ◎年度当初は保育所内での給食検討会での内容を踏まえ献立を作成していたが、更に栄養・内容に工夫しバラエティーな物になるよう研鑽を高める為法人内で統一した献立を立てる様にした。
- ◎毎日給食の献立を展示して、お迎えの時に見てもらえるようにし、家庭での夕食の参考に役立ててもらったり保護者の素直な意見が聞けるように努め、意見が出ると給食内容検討会で話し合った。

(1) 乳児

家庭での離乳食の進行状況にあわせて進めていった。希望する保護者には、離乳食の進め方の指導や、保育士と一緒に食事介助行うことができた。食材は家庭で口にしたものを取り入れることを心がけ家庭との連携を密に取り合った。また なるべくその子どもにあった食材、ミルクの使用を行った。保育所でよく使う材料を家庭でも摂取してもらうようお願いして食材の幅が広がった。個々の状態に応じてペースト状の水分量や刻み方を微妙に変える事によって無理なく進行できるようにした。アレルギー体質の子どもには、その子どもにあった食材・ミルクの使用を行った。

(2) 1～2 歳児

完全給食に加え、9 時 30 分と 15 時のおやつを実施。

(3) 3 歳児以上

副食給食（主食は各自自宅より持参）と 15 時のおやつ

(4) 15 時のおやつを実施。

週 3～4 回、手作りおやつを実施

(5) 延長保育児を対象に 19 時 10 分以降に夕食を実施。

6 健康管理の実施状況

(1) 児童

① 小児科

年 2 回（6 月 14 日・11 月 1 日）保育所嘱託医による健康診断を実施。

アトピー 2 名・心雑音 1 名と診断を受け、保護者に連絡して受診してもらった。その他特別に異常はなかった。健診当日、欠席の児童は後日受診し、全在所児の健康管理に努めた。

② 歯科

年一回（6 月 5 日）に、保育所嘱託歯科医による検診を実施。

健診当日、欠席の児童は後日受診し、全在所児の健康管理に努めた。

全国平均に対しては下回っているが、う蝕があるこがいる為、結果表を保護者へ配布し受診して

もらうようにした。

- ③ 年2回（5月9・10日、10月16・17日）ぎょう虫検査（全園児）と尿検査（3歳児以上対象）を実施。
- ④ アレルギーについて園内研修を行い特にアナフラキシー症候群については資料や看護師の話聞き状態や症状などについて学び対応について話し合い確認した。
- ⑤ 毎月、身体測定を行い、計測値は身長体重測定表に記入。
- ⑥ 毎月、保健衛生だよりを発行。健康管理や感染症などの注意を促した。
- ⑦ 在所児の既往歴を制作し、全職員が把握できるようにした。
- ⑧ 感染症流行の兆しがある場合等はおたよりを発行したり掲示して保護者に注意を促し、さらに園内外の清掃・消毒を徹底し外部からの入所は手指消毒の徹底を周知した。

(2) 職員

① 定期健康診断

西九州健康診断本部診療所より、全職員（臨時職員を含む）に健康診断を5月実施。

- ② 検査実施日現在35歳・40歳以上（計）の職員（臨時職員を含む）に血液検査を実施。診断の結果全員就業可の診断であった。

③ 検便

月1回、専門業者に依頼し、「赤痢菌・サルモネラ菌・O-157」の検査を全職員（臨時職員を含む）に実施。全員異常なし

7 非常災害危険防止等総合防災訓練の実施状況

(1) 総合防災避難訓練（避難・消火・通報訓練等）

月1回、いろいろな場所からの火災・地震等を想定し、避難・消火・通報訓練を行い、抜き打ち的にも実施した。さらには年2回程想定種別を広げて、水害・豪雨等の事例などについても取り上げ話しをした。12月11日佐世保市消防署日宇出張所より、総合防災訓練に立ち会ってもらい、指導を受けた。

(2) 防犯訓練

日々の防犯については、(株)全日警に委託

110番通報装置を設置。(有)セキュリティヨシダに6ヶ月事に点検・確認をしてもらった。(8月・3月)

職員会議で、防犯訓練について話し合い合言葉や、笛をいつも持参することを定めた。又、模擬訓練も行い不審者対策に努めた。

(3) 交通安全

佐世保市交通安全対策課より、年3回、交通安全指導員の派遣を依頼し、横断歩道・踏切等の渡り方など交通ルールを、紙芝居やパネルシアター、ゲーム、などを使って楽しく学んだ。また、2月27日佐世保交通公園に出向き実際に横断歩道・踏み切等の渡り方を実際に体験しながら学ぶことができた。園外散歩時には横断旗を持参し、散歩中と明記してある蛍光色パーカーを保育士が着用することで、子供たちの周り（人・車）に知らせるなど、安全に留意しながら行った。又、実際に交通安全教室で学んだ交通ルールを活用し復習の意味も兼ねた実施指導ができた。

- (4) AEDの講習を受けパットを貼る場所や使い方を再確認した。

- (5) 「ヒヤリ・ハット」ノートを作り保育士の意識を高め未然に事故を防ぐように努めた。

8 地域団体・施設・住民と実施した交流事業

(1)日宇小学校との交流

日宇小まつりに招待され、1. 2年生とのグループで出店を楽しむ交流を深めた。日宇小学給食試食会に招待され、5年生との交流したことで不安が和らぎ小学校への期待が高まった。

12/13 日宇小まつり

2/21 日宇小学校給食試食会

9 研修

(1) 職員の外部研修への参加状況

年月日	研 修 会 名	参加者名
H24.4.23	長崎県保育協会 食育研修会	省略
5.10	佐賀メイト 運動会実技研修会	
5.18	長崎県保育協会 初任者研修会	
6.7	長崎県保育協会 保育士研修会 I	
6.12	佐世保市保育会 第1回保育士研修会	
6.16	長崎県保育協会 地区別保育士研修会	
6.18~19	長崎県保育協会 所長研修会	
7.6	長崎県保育協会 保育士研修会 II	
7.17	佐世保市保育会 給食部会研修会	
7.21	長崎県保育協会 保育士部会研修会	
7.26	佐世保市保育会 第2回実技研修会	
7.27	佐世保市保健所 調理師研修会	
8.21	佐世保市保育会 第2回保育士研修会	
8.23	長崎県保育協会 主任保育士研修会	
8.29	佐世保市保育会 給食部会研修会	
9.4	長崎県保育協会 保育士研修会 III	
9.15	佐世保市保健所 調理担当者実技研修会	
9.27	佐世保市保育会 第4回実技研修会	
10.20	佐世保市保育会 給食部会研修会	
10.25	長崎県保育協会 看護師研修会	
10.25	長崎県公園緑地協会 遊具の安全に関する講習会	
10.29	長崎県保育協会 新会計基準移行研修会	
11.8	佐世保市幼児教育センター 乳幼児の心肺蘇生法	
11.15	佐世保市保育会 給食部会研修会	
11.30	佐世保市保健所 給食施設従事者食品衛生講習会	
12.12~14	長崎県保育協会 中堅保育士研修会	
H25.1.15	佐世保市保育会 第5回保育士研修会	
1.19	佐世保市保健福祉部 第1回食育実践者研修会	
1.29	佐世保市幼児教育センター 幼保連携協議会	
2.2	長崎県保育協会 給食担当者研修会	
2.19	佐世保市保育会 給食部会研修会	

(2) 保育所内研修の実施状況

◎年間 8 回講師を招いて漢字保育についての研修を行った。講師のアドバイスを受けながら保育所独自の毎月の指導計画を立て、それに基づいて指導することができた。また、法人内 3 園合同のカルタ大会を目標に子供たちの意識も高まった。職員間で話し合うことにより漢字保育の向上を図った。

◎職員会議内で研修に参加した各職員の研修報告をもとに、疑問点、質問、保育に関する情報などを取り入れ、日々の各自の保育に生かした。

◎法人の 5 ヶ園園長・主任会を開き、各園の様子・保育内容・保護者への対応・衛生面などについて話し、問題点などはアドバイスを受けるなど創意工夫して進めた。

◎マーチング指導責任者を決め、必要な場合 その都度集まり話し合いを行った。

◎危機管理アドバイザーを招き地震災害を主とした危機管理研修を行った。全職員が参加し共通の理解が出来た。保育所内の点検も再度行い見直し等を行った。

1 0 保育研修生、中学生職場体験の受入状況

(1) 保育研修生・ボランティア生

期 間	学 校 名 ・ 学 年	備 考
H24.8.20～8.30	筑紫女学園短期大学 1 名	研修生

(2) 職場体験学習

期 間	学 校 名 ・ 学 年	備 考
H24.9.19～9.21	佐世保市立日宇中学校 3 学年 3 名	

1 1 実施した施設設備

(1) 施設の改築・修繕（100万以上）

年 月	工 事 名	金 額 (円)

(2) 固定資産物品（10万以上）の購入

年 月	物 品 名	金 額 (円)
H24.4.16	園庭芝	472,500
H24.5.8	ピアノ K-2	438,000
H24.7.12	スチームコンベクションオープン	986,265
H25.3.11	園児バス キャラバン	623,333

1 2 意見・要望・苦情・不満受付

要望受付件数 3 件 詳細は別紙 3

意見・要望・苦情・不満に対する結果はすべて改善・解決済み。

平成 24 年度 日宇保育所行事実施表

実施年月日	行 事	実施年月日	行 事
H24.4.5	ハイク(島の瀬公園)	9.3	ハイク(日宇小学校)
4.8	ハイク(花まつり)	9.4	ハイク(日宇小学校)
4.18	4 月お誕生会	9.4	防災訓練
4.23	防災訓練	9.6	9 月お誕生会
4.24	ハイク(中央公園)	9.7	ハイク(日宇小学校)
4.26	ハイク(中央公園)	9.21	防災訓練
5.11	ハイク(ふれあいの森公園)	9.25	ハイク(日宇小学校)
5.15	ハイク(スピカ)	9.30	運動会
5.18	5 月お誕生会	10.2	ハイク(鬼木棚田の案山子見学)
5.19	親子遠足	10.3	ハイク(鬼木棚田の案山子見学)
5.22	防災訓練	10.4	ハイク(鬼木棚田の案山子見学)
5.28	ハイク(早岐茶市)	10.5	防災訓練
6.5	歯科検診	10.11	交通安全教室
6.9	保育参観	10.18	10 月お誕生会
6.11	芋さし遠足	10.26	鍛錬遠足
6.12	防犯訓練	10.27	保育参観
6.14	内科健診	11.1	内科健診
6.15	ハイク(図書館)	11.2	芋掘り遠足
6.21	6 月お誕生会	11.8	ハイク(中央公園)
6.22	ハイク(天神公園)	11.11	日宇地区文化祭
6.27	ハイク(エコスパール)	11.14	11 月お誕生会
6.29	交通安全教室	11.17	防災訓練
6.29	防災訓練	12.1	お遊戯会
7.5	防災訓練	12.6	12 月お誕生会
7.6	七夕・7 月お誕生会	12.7	ハイク
7.11	ハイク(相浦プール)	12.8	もちつき会
7.14~15	お泊り保育	12.11	総合避難訓練
7.27	夏祭り	12.13	日宇小祭り
7.31	防災訓練	12.18	防災訓練
8.2	命の話	12.18	ハイク(中央公園)
8.11	ハイク(パール近郊)	12.22	ハイク(鯨瀬埠頭)
8.18	ハイク(戸尾史料館)	H25.1.17	1 月お誕生会
8.24	8 月お誕生会	1.17	防犯訓練
8.29	ハイク(日宇小学校)	1.18	針尾福社会 5 ヲ園カ大会
8.29	防災訓練	1.24	防災訓練

H25.1.26	保育参観		
1.30	バスイク(天神公園)		
1.31	バスイク(中央公園)		
2.1	節分・2月お誕生会		
2.5	交通安全教室		
2.7	防災訓練		
2.14	食育指導		
2.19	防災訓練		
2.26	針尾福祉会5ヵ園サッカー大会		
2.27	バスイク(交通公園)		
3.1	雛まつり・3月お誕生会		
3.5	お別れ遠足		
3.7	防災訓練		
3.12	大島マーチング		
3.15	お別れ会		
3.15	防災訓練		
3.16	バスイク(海きさら)		
3.21	大島マーチング		
3.23	卒園式		

平成 24 年度職務分担表

日宇保育所 H25.2.1

職名及び氏名	職 務 内 容
所長 清水 由美子	1 理事会の決定事項の執行 2 運営管理（人事、労務、施設、防火） 3 保育業務の管理 4 財務管理 5 職員の資質向上（研修） 6 関係機関、保護者会等との連携、及び地域活動
主任 保育士	1 所長の補佐 2 職員相互の連携 3 保育計画の作成及び保育関内容の指導助言 6 保健衛生に関する計画及び指導 7 給食に関する指導助言
副主任 保育士	4 保育所内研修の企画及び指導 5 保育所行事に関する計画及び指導 8 職員会議の計画と実施 9 衛生推進に関すること
保育士 共 通 事 項	1 指導計画の作成 2 保育実務 3 保育に関する記録 4 在所児の健康と安全管理 5 調理員との連携 6 保護者との連携及び指導 7 保育所だよりの作成
保育士	*桜組の担任
保育士	*百合組の担任
保育士	*堇組の担任
保育士	*薔薇組の担任
保育士 看護師	*蒲公英組の担任
保育士	*薔組の担任
事務員	1 保育所の事務一般に関すること
保育士	1 共同遊具の整理、整頓、点検
保育士	1 保育材料に関すること 2 図書管理
保育士	1 保育所内外の掃除の点検 2 備付物品に関すること
保育士	1 交通安全及び避難訓練に関するこ
看護師	1 保健衛生に関すること 2 医薬品の整備、保管 3 健康診断及び歯科検診、ぎょう虫、尿検査に関すること 4 検便に関すること
保育士	1 延長保育促進事業に関すること
保育士	1 一時保育事業に関すること
保育士	1 低学年児童一時預かり事業に関すること
保育士	1 異年齢児交流等事業に関すること
保育士	1 世代間交流等事業に関すること。
保育士	1 心の保育に関すること
調理員	1 献立の作成、及び給食材料の発注、検収 2 給食人員の把握 3 調理、配膳 4 炊具、食器の保管 5 給食事務 6 保育所内外の清掃、整頓に関すること
嘱託医	1 在所児の健康診断 2 在所児の健康に関する指導
嘱 託 歯科医	1 在所児の歯の検診 2 在所児の歯の健康に関する指導

◎連絡ノートでのやり取りや子どもの様子を話したりする際、上から目線での書き方、言い方で不快に感じて傷つく。

上記に対する対応

気持ちを傷つけてしまった事を深くお詫びし、保護者の方や子どもの気持ちに寄り添った対応、話し方を心がけるよう職員全員に周知した。

◎挨拶をしても返してくれない先生、他の保護者と話をしている挨拶をしてくれない先生がいる。お互いに気持ち良く送りたいので挨拶は積極的に行うように心掛けてほしい。

上記に対する対応

挨拶はコミュニケーションの基本である事、その大切さを職員間で話し合い挨拶を徹底する事を確認する。

◎保育や行事で家庭からの準備物のお願いがお手紙の配布から期日まで期間が短い。休みを入れて余裕を持ってもらわないと仕事をしているので準備できない。

上記に対する対応

手紙の内容の確認不足をお詫びし、今後準備期間に余裕を持つようにすること、複数名での手紙確認をすることを徹底します。